



鈴木 朝英 先生揮毫

事務局 札幌市西区西野
7条2丁目1-2
齋藤 彰 方
TEL 090-3773-8824

発行責任者
会長 竹 田 正 直
北大教育学部同窓会

学部近況



教育学研究院長・教育学院長・教育学部長

宮 崎 隆 志

学部長(・学院長・研究院
長)としての二年目を迎え
ました。皆さまのご支援によ
り、なんとか運営にあたつて
います。至らぬ点が多々あ
りますが、今年度も何卒よ
ろしくお願い致します。

昨年の同窓会報の発行以
後に、水野眞佐夫先生と石
岡丈昇先生が転出される一
方で新たに崎田嘉寛先生を
お迎えしました。崎田先生
は広島国際大学から、健康
体育学分野の准教授として
着任されました。崎田先生
のご専門は体育史で、学校
体育の成立過程を当時の指
導法の分析等によって明ら
かにされています(『戦後
初期学校体育の研究―広島
県の小学校を手掛かりとし
て―』(溪水社)。また、体

育科教育学もご専門とされ
ており、全学教育はもとよ
り教職課程においても専門
性を発揮して活躍してい
ただいています。本部署に
とっては久々の新規採用で
す。崎田先生が運んでくだ
さった新たな風により、組
織全体も活性化しています。
水野先生は平成一八年に
デンマーク・リールベ州立病
院から、教育学研究科に教
授として着任され、運動と
健康の関連にかかわる広範
な研究を精力的に進めてこ
られました。大学院では健
康体育学分野で多くの後進
の指導に当たってこられま
した。また学部教育では、
ESDキャンパス・アジア
プログラムを推進され、ハ
ワイ大学を含めたキャンパ
ス・アジア・パシフィック
へと発展させる下地を築い
て下さいました。水野先生
は国際交流委員長として東
奔西走されていましたが、
水野先生の誠実かつ熱意の
ある対応によって協定校と
の間で培われた厚い信頼関
係は、私たちにとても大き
な資産となっています。今
年度四月からは、八戸学院
大学の学長として重責を担
われています。

北海道大学教育学部 創立70周年記念事業

北海道大学教育学部は、2019(令和元)年5月31日に創立70周年を迎えました。関連する企画・行事が多数ありますのでご案内いたします。

(1) 記念式典

2019(令和元)年9月27日(金) 15:00～15:20

* 於: 人文社会科学総合研究棟W103(北11西7)

(2) パネルディスカッション (同会場) 15:20～17:30

テーマ『北海道の教育課題にどう向き合うか』

(3) 祝賀会(学部・同窓会共催)

2019(令和元)年9月27日(金) 18:30～20:00

* 於: 京王プラザホテル札幌

* 会費: 同窓生5,000円

(4) 記念シンポジウム

2019(令和元)年11月22日(金) 15:00～17:30

(5) 記念出版

『ともに生きるための
教育学へのレッスン40
明日を切り拓く教養』

明日を切り拓く教養』

(6) 留学支援寄付の募集

* 詳細は3Pに掲載。

(7) 同窓会主催の、「教育貢献賞」の創設

* 詳細は4Pに掲載。

* 学部創立70周年記念行事の翌日9月28日(土)が、「北海道大学ホームカミングデー2019」です。連日の行事になりますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

石岡先生は、平成二〇年に本研究院に体育社会学領域の助教として採用され、平成二五年には准教授に昇任されました。その間に、博士論文をもとに『ローカルボクサーと貧困世界―マニラのボクシングジムにみる身体文化』(世界思想社)を出版され、その後も一年間にわたりドイツに留学されるなど、新進気鋭の社会学者として活躍されてきました。部局内においても、若手教員の中での領域横断的な研究の組織化のキーパーソンとして、余人をもって代えがたい役割を担って来られました。四月からは日本大学文理学部において社会学の教鞭を取っておられます。

さて、昨年度の会報でもお知らせしましたが、本局は創設七〇周年を迎えました。同窓生をはじめとする関係者の皆さまのこれまでのご支援に改めて感謝申し上げますとともに、本局の今後の方向性を共に考えるために、記念式典に加えて意見交換の場を持つことに致しました。九月二七日(金)一五時から北海道大

学人文社会科学教育研究棟・W一〇三にて、式典およびパネルディスカッションを開催致します。この間、北海道教育委員会との間で、少子高齢化・人口減少に直面する北海道において、新たな教育構想を探索するための協働の在り方を探ってききましたが、このパネル

ディスカッションでは、その協議を踏まえて、本局の今後の課題や方向性について、意見交換を行う予定です。夕刻からの記念パーティも含めて、多くの方々にご参加頂ければ幸甚に存じます。

また、これを機に合わせ、部局構成員による『ともに生きるための教育学へのレッスン40―明日を切り拓く教養』(明石書店)が出版されます。現在の部局の研究・教育関心をコンパクトに紹介し、かつ私たちが構想する教育学の価値を訴えるユニークな本になったように思います。是非ともお手にとって頂ければ幸いです。さらに、一一月二二日(金)にも、本局の研究構想に関わるシンポジウムを予定しています。こちらは企画内容が固まり

次第、ホームページ上でご案内いたしますので、どうぞご期待ください。

大学をめぐる状況は一層厳しさを増しています。今年度の予算から、全国の大学を共通の尺度で比較・評価し、予算額の一〇%がその評価に基づいて配分されるようになりました。今後、その比重はおそらく高められ、大学間の格差はこれまでになく拡大することが予想されます。しかしながら、北海道教育委員会との連携に示されるように、北海道にある大学としての私たちの部局の使命はより重くなっていますし、国際的にも、共に希望を語るための教育のあり方を模索する研究者・大学間のつながりはこれまでになく強まっています。国内外の学生はもとより、不安が渦巻く現代社会の変革を願っている人々の期待に教育学の立場から応えるべく、部局構成員一同、さらに奮闘してまいりますので、引き続き、ご支援を賜れば幸甚に存じます。

北海道大学 ホームカミングデー 2019

主催…北海道大学 共催…北海道大学校友会エルム
会場…北海道大学 札幌キャンパス(クラーク会館他)
日時…2019(令和元)年9月28日(土)

9:50 北海道大学交響楽団による演奏
10:00 歓迎式典

ご挨拶 北海道大学総長

ご挨拶 北海道大学校友会エルム会長 杉江 和男

10:25 記念講演会

小川 美香子 北海道大学薬学研究院 教授

11:05 学生による活動報告

11:20 歓迎ステージ

北海道大学合唱団

11:32 「都ぞ弥生」斉唱

司会 北海道放送株式会社 船越 ゆかり HBC少年少女合唱団事務局長(経済学部卒)

詳しくはホームページをご覧ください。

ホームページはこちら <https://www.hokudai.ac.jp/home2019/>

文系四学部共同開催公開シンポジウム

会場…14:00~16:30 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)103号
テーマ…「北海道観光の新たな可能性―アドベンチャー・トラベルとは」
パネリスト…かとう けいこ氏(株)まちづくり観光デザインセンター CEO)

渡辺 敏哉氏(まるぜん観光)代表取締役

司会…平 健太 教授(北海道大学大学院経済学研究院長)

詳しくは会報の中の広告をご覧ください。

令和元年度北海道大学教育学部同窓会総会・懇親会

日時…令和元年9月28日(土) 16:45~17:15
会場…文系共同講義棟(通称軍艦講堂)1番教室
四学部合同懇親会 17:30~19:00 中央食堂2階
会費…3,000円(同伴家族は2,000円)
連絡先(幹事)…090-3773-8824 齋藤 彰(1980年教育行政卒)

*前日の9月27日(金)は、北大教育学部創立70周年記念行事が開催されますので、あわせてのご参加をよろしくお願い致します。

教育学部

創立七〇周年

記念事業への

ご協力を！

「教育貢献賞」祝賀会、

留学支援基金



北大教育学部同窓会会長

竹田 正直

一、教育学部創立七〇周年記念「教育貢献賞」の創設

北海道大学大学院教育学部・教育学部(教育学部と略)は、一九四九(昭和二四)年五月三十一日に公布された国立学校設置法で発足し、二〇一九(令和元)年五月三十一日に七〇周年を迎えました。

去る六月二〇日(木)に北大遠友学舎において、教育学部から宮崎隆志学院長・学部長と社会連携委員長・守屋淳教授も参加されて、北大教育学部同窓会役員・幹事会が開催され、創立七〇周年記念事業とその相互協力について話し合いました。

第一は、同窓会として二〇二〇年三月二五日(水)

の教育学院学部卒業・修了式で、本年度の学部在生の中で、「子どもの発達への貢献、スポーツ活動への貢献、地域社会の人びとへの貢献、国際交流活動への貢献などの分野で顕著な活動を行った学生」若干名に対して、教育学部同窓会より「教育貢献賞」の賞状と図書券等の副賞を授与し顕彰することです。授与学生の選考は、研究院長・学部長を通じて教育学部社会連携委員会にお願いする。

二〇一九年九月二七日(金)午後六時半からの七〇周年記念祝賀会(京王プラザホテル札幌)で、「教育貢献賞」創設の発表をする。また、今年の会報でも発表する。第一回の表彰は二〇二〇年三月二五日(水)の卒業式で複数名に對して贈る。二回目以降は毎年一名を原則とするが寄金の応募状況によっては複数名を検討する。費用は、表彰状(書家による)と図書券等で、各人三万円位で一五万円を目標とする。寄金募集は、一口、二千元で、『会報』郵送のさいに振替

用紙を同封する。送金のさいに会費と寄金の明記をお願いし、明記がない場合は、まず会費とし、会費以上を

寄金とする。募金の第一次締切は二〇一九年一〇月末日、第二次締切は二〇二〇年一〇月末日。その後の募金も第一次締切は毎年一〇月末日、第二次締切は翌年一〇月末日となるが、来年度の役員・幹事会での日程等の再検討もありうるでしょう。

二、創立七〇周年記念「祝賀会」の共催

第二は、宮崎隆志学院長・学部長から提案され、二〇一九年九月二七日(金)午後六時半から八時までの七〇周年記念祝賀会(京王プラザホテル札幌)を、教育学院学部と同窓会が共催で行うことです。会費は実費六千円ですが、同窓生には学部から千円補助します。同窓生の会費は五千円です。同窓会は、会員への案内状発送で協力致します。

なお、教育学院学部として、この日、九月二七日(金)午後三時から五時半まで、七〇周年記念式典やパネルディスカッションを文

70周年記念：留学支援寄付金のお願い

北海道大学教育学部・学院では、学生・院生に対し、国際的な視野から教育問題を考えることを期待し、留学等により海外の学生とともに学ぶ機会の拡充に努めて参りました。

2011年に開始した「ESDキャンパス・アジア」プログラムをはじめとした留学推奨によって(詳細は別紙をご覧ください)、この10年間では短期留学として延べ133名、中・長期の留学として延べ37名が海外大学での学習経験を積んでまいりました。参加した学生は、帰国後も海外学生との交流を継続し、また院生の場合は国際学会等での発表につながるなど、所期の目的に照らして、大きな意義が認められます。

しかし、一方では、国立大学法人化以後、運営の基盤となる運営費交付金は毎年減少し、他方では海外渡航に関わる経費は高騰する傾向にあり、とりわけ滞在費が留学の制約になる場合も少なくありません。教育学部・学院では、留学機会をさらに多くの学生に与え、留学支援および関連事業を拡充するために、卒業生・関係者の皆様に、下記要項により寄付金をお願いすることに致しました。

つきましては、この趣旨にご配慮を頂き、ご支援・ご協力を賜れば幸甚に存じます。

【寄付要項】

1. 募金名称 70周年記念・留学支援寄付金
2. 募金目標金額 200万円
3. 募金期間 令和元年7月から令和2年3月31日まで
4. 募金金額 一口5,000円(何口でも結構です)
5. 寄付の申し込み方法

(1) 郵便振替の場合…同封の振替用紙をご使用ください。

*同封の振込用紙は「特定資金」「教育学部」を記入済みです。

(2) クレジットカード等をご利用の場合…北大フロンティア基金の「学部等支援事業」から手続きをお願い致します。

アクセス方法…北海道大学のホームページの下段の「LINK」↓
「フロンティア基金」↓「学部等支援事業」
<https://www.hokudai.ac.jp/fund/Regist=7>

*「教育学部」の指定をお願いいたします。

6. 謝礼 10,000円以上のご寄付を頂いた場合には、本局教員が執筆した70周年記念出版「教育学のレッスン40」(別紙参照)を贈呈致します。

※なお、教育学部同窓会でも「教育貢献賞」のための寄附金を募集しておりますので、こちらへもご協力いただくと幸いです。

【お問い合わせ先】

北海道大学教育事務部庶務担当 電話番号 011-706-3965 /
メールアドレス shomu@edu.hokudai.jp

系共同講義棟で行いますし、一月二二日(金)三時から五時半まで、学内(公開)で記念シンポジウムを行います。『教育学へのレッスン40』という書名の記念出版も行います。また、留学支援のため、北大フロンティア基金の部局指定を活用して、目標二〇〇万円の募金(一口五千円)を行いますのでご協力ください。

なお、フロンティア基金に応募した場合、確定申告によって住民税が一部控除される自治体があります。

少なくとも北海道と札幌市は対象になっています。また、二〇万円以上応募すると、総長からの感謝状や本人のローマ字名入りの卓上カレンダーや北大植物園無料優待カード(二年間)が送られてきますし、元理学部の建物を活用している北大博物館の記名板に名前が入ります。教育学部関係でも何人もの方のお名前があります。私も妻も、かなり前に記名されています。今年五月に、北大病院に入院中の九五歳の長兄竹田正巳の名前で、代わって私が基金に応募し長兄の名前で記名されました。それは、私

が、中学二年の時、父正作が死去(現在の石狩市浜益区の自宅で大波による海難事故で行方不明)となり、北大卒業まで養育してくれた長兄正巳(札幌南高教諭で停年)への感謝を込めてでした。また、故人名義の基金応募や記名も可能です。留学寄付への参考に。

三、教育学部の創設

一九四九(昭和二十四)年五月三十一日に発足した教育学部の初代学部長は、伊藤吉之助法文学部部長が兼任(一九四九年七月三十一日付就任)しましたが、前年一月に学内の大学設置基準対策委員会に教育学部設立に関する小委員会ができ、教育学部創設委員会も設けられ国立教育研修所(後に研究所)所長城戸幡太郎先生に学部長をお願いしていました。城戸先生は、所員の鈴木朝英先生らと北大教育学部の構想を検討し、一四学科約一五〇講座という大学部構想を立案していましたが、事情があつて城戸先生の二代目教育学部長就任は一九五一(昭和二六)年六月一日でした。鈴木朝英先生が先に着任していま

した。

学部構想を練り上げた城戸幡太郎先生や鈴木朝英先生たちは、人間の存在するあらゆる場面に人間の発達の課題があり教育学の対象があると考え、家庭教育や就学前教育から学校教育、高等教育、さらに、企業や生産現場での産業教育、農業、社会や生活のあらゆる場面での教育を教育学の対象と考え、そのため、科学のあらゆる分野の研究者を教員に迎えました。戦前のような教育思想研究中心でなく、実証的、実験的研究を重視しました。

しかし、文部省折衝の過程で縮小され、教育学科一学科(一九四九年六月一日設置)に、最初の「教育史学講座」(同年六月二二日)から、「社会教育講座」、「教育計画講座」、「特殊教育講座」、「産業教育講座」、「生活教育講座」、「学校教育講座」、「教育制度講座」、「付属産業教育計画研究所設」(一九五九年四月一日)まで、一〇年かかり、「発達心理学講座」までは、さらに七年かかっております。体育は、城戸構想では二学科でしたが教養課程の体育

北海道大学教育学部創立70周年記念「教育貢献賞」創設

主催…北海道大学教育学部同窓会

協賛…北海道大学大学院教育学研究院・教育学部

宮崎隆志研究院長・学部長及び教育学部社会連携委員会

目的…学部創立70周年にあたり、本年度の学部在学生のなかで、子どもの発達への貢献、スポーツ活動への貢献、地域社会の人びとへの貢献、国際交流活動への貢献などの分野で顕著な活動を行った学生若干名に対して、教育学部同窓会より「教育貢献賞」の賞状と図書券等の副賞を授与し顕彰する。

選考…宮崎隆志研究院長・学部長を通じて教育学部社会連携委員会にお願いする。

人数…2019年9月27日(金)夜、70周年記念祝賀会(京王プラザホテル)で、「教育貢献賞」創設の発表をする。また、今年の会報でも発表する。第1回の表彰は2020年3月25日(水)に予定される学部卒業式・祝賀会で複数名に対して贈る。

2回目以降は毎年1名を原則とするが寄金の応募状況によっては複数名を検討する。

費用…表彰状(書家による)と図書券等で、各人3万円位で15万円を目標とする。

寄金…1口、2千円。『会報』郵送のさいに振替用紙を同封する。送金のさいに会費と寄金の明記を御願ひし、明記がない場合は、まず会費とし、会費以上を寄金とする。

期間…募金の第1次締切は2019年10月末日、第2次締切は2020年1月末日。

以上

担当と兼任となり、音楽、芸術は、学内の空きポストで五人の音楽教授を採用して七期生まで、音楽専攻の学生を指導していました。その後、北海道学芸大札幌校特設音楽科となります。

四、初期の困難さ

私が、七期生として学部に来た時には、教育学部の建物は六カ所に分散していました。①工学部の旧土専校舎の現在の環境研にあった学部長室、会議室、多くの教官室と事務室や用務員室の二階建てのいわば本校舎、②その裏にあった講義室とゼミ室をもつ建物。③そこから約一〇〇mほど北現在の大形計算機センター西の薬草園のところにあった心理と保健の教官室や、講義室、奥に読書室と学生用集会室のある一階建て。④本校舎の西側、床が波打つ木造の体育館とそれに付属する体育教官室。⑤現在のクラーク会館の前にあった二階建て中央講堂の一階左手の沢山のピアノのある音楽室。⑥札幌市から市電の廃棄車両をもらいうけて中央ローンの南側においた幼稚園です。その後、本校

舎の近くに立派な幼稚園が建設されました。スマホ時代の今とは違い連絡だけでも大変だったでしょう。

教職員の生活も大変で、鈴木朝英先生のお話では、中央ローンを畑にしてじゃがいもを植えていたとか、

景気の良かった夕張など炭鉱の街へ教授が鉛筆など文房具を売りに行ったそうです。地域貢献も考え教職課程の通信教育を開設したり、学校や教職員組合の講演依頼に積極的に対応していたそうです。北大教職員の官舎がまとまって存在した北二五・六条、東三、四丁目

は、当時、札幌の最北の地で「大学村」の愛称とともに「シベリア」村とも言われていました。法文経の教官室（現在の大学本部）と北側の教室を結ぶ木造廊下は、吹雪になると雪が積もるので学生は「シベリア街道」と呼んでいました。

五、ホームカミングデーと北大校友会エルム

北大のホームカミングデーは、毎年、九月最後の土曜日で、今年は、九月二十八日（土）です。例年、午前一〇時頃から大学と北大校友会エルムと共催で講演会などが行われ、その後のランチ会も北大校友会エルムなどの主催と補助で行われます。

従来の北大連合同窓会は、各学部同窓会と国内外地域同窓会などの連合会でしたが、北大校友会エルムは、

従来の各学部同窓会と国内外の地域同窓会などはそのまま基礎同窓会として会員とみなすが、新たに、北大に入学した学生、大学院生、研究生、出身大学にかかわらず現職の教職員、さらに学生、大学院生、研究生の保護者も、二万円の会費をはらうことで生涯会員となることができます。任意加入なので、新入生へ様々な普及活動をおこない、ようやく年間一千人弱の新入会員を迎えています。まだ四割弱です。

学生支援や基礎同窓会支援を行っています。

会員になった学生が希望すれば、英語検定年一回の検定料（五千数百円）を四年間支援するので、これだけで会費分以上となります。そのほかジンパ歓迎会、OBG講演会と懇親会招待、国際インターンシップ参加学生に八万円の支援と現地に北大校友会エルムの支部があれば交流できます。今年から北大生協と協力して会員学生への一〇〇円朝食を始め、学生自身や保護者からも喜ばれています。大学院生や教職員支援は今後の課題です。

六、キルギスタンとカザフスタンへ

昨年、二〇一八年八月末から九月上旬にかけて、会長をしている日本ユーラシア協会の全国の都道府県連の代表団二名の団長として、中央アジア五カ国のうちカザフスタンとキルギスタンを訪問してきました。日本ユーラシア協会は、一九五七年に初代会長鳩山一郎元首相（二代目会長石橋湛山元首相）らが、一九五六年の日ソ共同宣言締結後、平和条約実現には政府間交渉のみならず国民同士の友好交流と相互理解が必要であると民間交流のため、に結成した「日ソ協会」で、平和と草の根の友好、人権と民主主義、共生を理念として活動しており、会員はボランティアで活動しています。一九九一年の旧ソ連崩壊後、一五カ国に独立し、夫々の民間友好団体と交流することになり「日本ユーラシア協会」と改称して一五カ国の民間団体と文化交流等を行っています。

カザフスタンには、以前、旧ソ連のセミパラチンスク核実験場があり、周辺住民が被爆しており、独立と同時に核実験場を閉鎖し核兵器廃絶を目指しています。カザフスタン対外文化友好交流協会（ジベク・アメルハーンワ会長）と共催で反対対話集会を、アルマトウイ市の国立民族農業大学で行い、日本側からヒロシマ、ナガサキ、フクシマについての問題提起を行いました。

学生たちも、一部の富裕層の出身以外、多くは貧しく、夏以外は一着ですむ黒い学生服を着て、アルバイトもよくしていました。わたくしも家庭教師と、一年生とききポート部（部長・監督・コーチ堀内寿郎触媒

私は、北大校友会エルムの理事をしておりますが、二〇一九年五月一四日（火）に、総会準備のための第三回理事会が行われ、六月一四日（金）に総会と懇親会が行われました。

私は、北大校友会エルムの理事をしておりますが、二〇一九年五月一四日（火）に、総会準備のため

収入の大部分八千万円弱は企業研究セミナーという、毎年春に北大で行われる就職希望学生への企業説明会への企業の参加料、一社五・二〇万円の収入です。

キルギスタンでは、キルギス対外友好交流協会（マリエフ・アルスランベック会長）と共催で平和と協力

のフォーラムをビシケク市

で開催しました。さらに標
高一五〇〇mにある世界第
二の湖イシクル湖周辺で
行われた第三回遊牧民オリ
ンピックへの公式招待・見
学(文化集会へ団員の尺八
演奏)などがありました。

日本からも馬術チームが競
技に参加し、文化集会にも
アイヌの二人の女性が民族
楽器ムツクリとトンコリを
演奏し素晴らしい音色を八
九カ国の参加者に届けまし
た。この両国とも、公用語
は母語とロシア語で集会や
フォーラムでの私の二つの
発表とも日本語とロシア語
で行いました。

七、北海道と北加伊道

中央アジアは、両国の他
に、ウズベクスタン、タジ
キスタン、トルクメニスタ
ンと全部で五カ国ですが、
全てについている「スタ
ン」が「そこに住む人」と
いう意味と現地で聞きました。
北海道の名前を松浦武
四郎が明治二年に「北加伊
道」と提案したとき、アイ
ヌに敬意をこめアイヌ語で
「そこに住む人」を意味す
る「加伊」が使われました。
私たちの北海道大学にも関

わることです。

国会で全会派一致して採
択した「アイヌ施策推進
法」が、去る二〇一九年五
月二四日に実施されました
が、この法律は、アイヌが
先住民族であると明記した
日本で初めての法律です。

「加伊」が提案されて一
五〇年後にようやくアイヌ
が先住民族と認められたの
です。しかし、私の生まれ
た浜益村では、すでに一九
八〇年に出版された『浜益
村史』でアイヌを先住民族
として章を設け克明に論じ
ています。明治初期に開拓
使の依頼で来道したアメリ
カの地質学者が補助員とし
て雇用した浜益のアイヌが
如何に優れていたか、金田

一京助氏が浜益を叙事詩
ユーカーラの発祥の地と推論
していること、浜益に住ん
でいたアイヌ天川恵三郎が、
騙されて旭川から追い出さ
れそうになった旭川アイヌ
の依頼で、小樽の量徳小学
校を卒業しアイヌ語も日本
語もできた天川恵三郎が上
京し、大隈重信ら政府高官
と交渉して解決し「アイヌ
の偉人」と尊敬されたこと
などが敘述されています。
私は小学校でアイヌととも

に学びましたし、六年生の
時は、クラス全員でアイヌ
の偉人天川恵三郎の紙芝居
を作りました。戦後、アイ
ヌの獣医師が村の助役にな
りました。

私が知り得た私の渾名は、
小学校の時の「ゴサ」から
大学教授になっての「カ
チューシャ先生」まで五つ
ほどありますが、初めの
「ゴサ」は、父と親交の
あった熊などのアイヌの木
彫り名人の名前にちなんだ
もので誇りに思っておりま
す。大学時代には、文学部
に知里真志保教授(文学博
士)がおり、学内で何度か
お見かけしましたし、大学
院でロシア経済史を習った

先生が知里先生と親しかっ
たのでより身近に感じてい
ました。教員になって研究
室の逸見さんや所さんと相
談して、萱野茂さん(後に
アイヌ初の国会議員、博
士)を大学院非常勤講師に
お願いしました。多くの卒
業生が、多民族共生のため
に目覚ましい活動を続けてい
ることを嬉しく、かつ、誇
りに思っています。

八、多民族共生の時代へ
キルギスタンでもう一つ

忘れられぬことは、九月六
日の胆振東部地震をキルギ
スタンのホテルで就寝中に
携帯電話への全国各地から
のお見舞いで知ったことで
す。予定どおり七日の夜八
時過ぎに新千歳空港につき
ましたが、バスはなく、タ
クシーで帰宅しましたが、
札幌もまだ真つ暗な地域が
沢山ありました。その後、
学部心理系や福祉関係の
学生の実習で永年お世話に
なってきた富門華寮の被災
を知り、齋藤彰幹理事長と相
談し、同窓会から心ばかり
の義援金を送り喜んでいた
だきました。心から復興を
祈念しております。

七〇年前の一九四九(昭
和二四)入学の第一期生は、
一九五三(昭和二八)年三
月に卒業しましたが全員で
一〇名でした。二期三七名、
三期三七名、四期四六名と
増加しましたが、五期一五
名、六期二三名、私の七期
は二五名と減少しています。
圧倒的に男子学生で私の七
期は全員男子学生でした。
大学院修士修了は一九五五
(昭和三〇)年三月には初
めてで二名、博士修了の初
めは一九七九(昭和五四)
年で一名でした。それが、

今年、二〇一九(平成三
一)年三月二五日の教育学
院学部学位授与式・卒業式
に出席致しましたが大きく
変化、発展しておりました。
学部卒業生の学士は六二名、
内女子学生二九名でほとん
ど半数です。修士が四七名、
博士が五名でした。教務主
任の佐藤洋一さんによると、
大学院の六月や九月修了、
論文博士を含めると、二〇
一八年度全体では修士四九
名、博士八名の修了となり
ます。修士四九名の内留學
生は二三名、博士八名の内
留學生一名とのことです。
この七〇年の変化と発展は、
第一に卒業・修了生数の大
巾増加です。第二に女子学



教育学部の女子学生が描いた
竹田正直の似顔絵

生・院生の大巾増加、第三
は修士を中心に留學生の画
期的な増加です。大学も多
民族共生の時代を迎えてお
ります。情報機器の飛躍的
発展があるとはいえ教職員
の仕事の大変さと献身を痛
感しております。

二〇一九年(令和元年)
七月一九日記



なかなか学校の様子は外に出ません。表に出るのは質量ともにほんの一部です。ここは秘密結社じみているので、秘密保持に引っ掛からないオフホワイト程度に学校の様子をお知らせします。

つ学級は帰りの会は長いの

でそんな経験が無かったの

ている子どもと付き合いま

の?
└

「……。」

「じゃあ、怒られなかったらしいんだね？」

と言うことで、子どもたち

に策を授けました。

「池を跳ぶ前に、回りを

見るんだ。先生がいたら、跳

びそうな真似だけをする。

そうして、先生の様子を

見る。その先生がニコニコと

笑っていたら跳ぶ。ニコニ

コしていなかったら跳ばな

い。ニコニコが大事だぞ。」

最初は他の学級から注意

されることもありましたが、

ニコニコしている先生も増

えると、黙認する先生も増

えます。

「俺、怒られた！」

と言う子に、

けない。昔は教職員が押し

きったんですが、今はそこ

までできません)、笑い話

になっていました。

池で遊んだことが決め手

ではありません。他にもい

ろいろとやってみました。全

校的に子どもたちが仲良く

なると、不思議なことに学

校が変わります。苦情電話

が減る。校長室に親が来な

くなる。喧嘩が減る。不登

校も減る。重役出勤も減る。

ほとんどいなくなりました。

職員室の笑い声も増えます。

学校が柔らかくなってい

くためには、やはり先生に

子どもの仕事でもあります。

だいたいはその場で話をつ

けますが、ケガが入ると保

護者に説明をします。

私はほぼ四〇人弱の学級

を受け持っていました。子

どもがけんかしたときに、

その場に居合わせることは

ほとんどありません。だい

たい先生の前では子どもた

ちはそんなにけんかはしま

せん。当たり前ですが、け

んかが起きると両方の話を

聞かなければなりません。

これが学校では難しい。今

は、ほぼ六時間授業なので、

授業時間は、四五分×六＝

ないし、怒ってることあるし、話しかけてくれる有

り難い子もいるし、トイレ

にもいかなきゃ膀胱炎にな

るし、とにかく忙しい。

それらを、「ごめん。後

からね。」と大半は後回し

にされて守られない約束を

して、喧嘩の話を聞きます。

でも、口で言えるなら、手

を出していない。半分くら

いの子はうまく言えません。

でも、限られた時間で聞か

なきゃならない。子どもの

話を待ちきれずに、限られ

た情報をもとに先生が

「……なのかい？」と当

たりをつけます。はつきり

は二期からが本格的です。

そんな時にまた喧嘩や怪我

が重なります。春から秋ま

では多い。

話がそれました。学校関

係の事故がマスコミに取り

上げられていると、

「そりゃあ、だめだろ。」

という件もありますが、

「お気の毒に。」

と、どこかで思う自分もい

ます。でも、何かあった時、

一%でも教師側に原因があ

ると、「すいません」と言

う仕事です。自分の原因を

〇%にするには、子どもと

かわらないのが一番です。

いつの間にか授業時数が増

えた。総合が導入されて、

形骸化していった。教科書

が変わると、授業内容が上

の学年から降りてくる。

「説明責任」と言う言葉が

学校にやってきた(説明す

るためには見てなきゃなら

ない。でも、先生は見てた

ら授業にならない。元々無

理難題な説明責任は先生に

は物理的に無理)。急に外

国語を教えなきゃならない

(私は大学二年の教養部の

英語以来、三〇数年ぶりに

突然、「HELLO!」と

英語を教えることになった

自分が水の中にいると、汚れても気がつきにくい。「忙しい!」とこぼしている間に学校が変わっていきましました。漢字の「忙」を教えるときに「忙しいと心が無くなるんだよ。」と教えたりしますが、その教えている先生が「忙」です。あれま!

学校が面白かった話が途切れました。最後に子どもたちが書いたものを紹介します。ずっと作文を続けてきました。戦前の綴り方運動の戦後の後継団体で、「北海道作文の会」です。普段の子どもとのやり取りと、子どもの書いたものが支えてくれました。

ジェスチャー憲法

美晴

今日の社会で、班の人の前で、憲法の前文の覚えている所までをテストしました。私の前は琉偉君で、なんと! 八行クリアしました。

どうしよー! 四行ちよつとしかいっていないのに! (ト緊張…)

でも、まあ仕方ないので、

覚えている所まで言いました。ですが途中で、「我が国全土に…えーつと…」

つつかかってしまいました。すると、琉偉君、獅央君がいきなりジェスチャーをし出して、

「あの、ほら、橋を○○○○て。」

と言いました。私は少し考えて、

「わたる?」

と聞きました。すると、

「そつじやなくて○○。て。ちつちやい『〇』。」

「あーあ! わたつて!」

「そつそつ。」

ジェスチャーは「わたつて」という意味でした。その後も、

「国民に存することを…」

(前文五行目)

「ほら、あのー!」

と言い、手を上げて宣言のジェスチャー。

「あーあ。宣言!」

「そつそつそつ!」

結局、五行目までそんな感じでした。五行は言えただけど、やつぱり八行をきちんと言いたかったので、家で頑張ります。

憲法前文で面白いことを

見つけました。二文目。

・その権威は国民に由来し…

・その権力は国民の代表者が…

・その福利は国民がこれを…



□の所は一緒! だから、水色 (網かけ部分・※編注) の所を覚えると、楽に覚えられる。その権威、その権力、その福利…と、ぶつぶつ呟くと、順番も覚えられた。

おせっかい

慧美

自分はおせっかいだ。自分の事より人の事。他の言い方をすれば、心配性とも言えるかな。

初めて「おせっかい」と

いう言葉を知ったのが、二年前の六年一組で、壁にでかかと貼られた「お節介にもなるうー」の文字がきっかけだった。

家で当時六年生だった姉に聞いた。

「ねえ、『おせっかいにもなるう』の『おせっかい』ってどういう意味?」

姉は□に含んだ水を飲んでおせた。

「えつ、どこからそんな単語を学んできたの?」

「六年一組に行ったら、貼ってた。」

姉はしょうがねえなあつて顔してた。

「おせっかいっていうのはね。人の世話をしたがる世話焼きのことだよ。」

「心配性みたいなの?」

「つん。それをおせっかいっていうの。」

五年生になった。五年生になってから、段々分かって来た。

(自分、おせっかいじゃん!)

その頃ハマっていた花言葉で、誕生花の花言葉を調べると、出ました。花言葉は「おせっかい」です。さすがにこれはすごいと思うた。

自分はおせっかいが人の迷惑になっていないか、ちよつと心配です。でも、今はまだ平気そうなので、無理のない範囲でまだ頑張りたいです。

こんな子どもたちと過ごした幸せな三八年間でした。

教員としての

三〇年間

平成元年三月卒業、身体発達ゼミ

渡 會 雅 明

教養部棟や教育学部棟からメインストリートを通って原生林を抜け、眼前に広がる雄大な農場を眺めながらサークル会館に向かう道のりが、今も鮮明に焼き付いています。在学四年間、私はひたすら陸上競技(中距離)に明け暮れ、来る日も来る日もトレーニングに打ち込んでいました。学生生活と人間関係の中心は部活ばかりで、とても興味を持って学業に取り組んだとはいえませんが、一二月の全日本大学駅伝をもって競技を終えてから急にゼミの仲間との交流が深まり、卒論締め切りの時期には、体

育館側の研究室に数人で遅くまで残って取り組んだ後、「さあ飲みますか」と張りきって北二四条あたりに繰り出したことが懐かしく思い出されます。今思えば、ただその時間を楽しみただけのために残っていたのかもしれない。

私は自分が情熱を注いだ陸上競技に関わる職業は教職しかない、という短絡的な理由で体育教師の道を選択しました。高校時代、自分の夢であったインターハイに出られず、教員としていつかその舞台を見てみたいという強い憧れが志望の根底にありました。函館中部高校を初任(四年間)とし、下川商業高校(九年間)、江差高校(九年間)、そして縁あってまた函館中



部高校に戻り、現在九年目となります。採用が決まり、さあ陸上の指導を頑張るぞ！と心をときめかせていました。が現実はその甘くはなく、初任校では専門ではないサッカー部の顧問を任せられました。当時の函館中部は陸上の強豪校であり、リレーで全道優勝をするなど優秀な選手がたくさんおり、自分の気持ちを抑えきれない私は、時にサッカー部の練習を見ないで陸上競技場に走りに行くという無責任なことをしたこともありました。毎年、同じ体育科の陸上部顧問の先生がインターハイ遠征で買ってきた土産を複雑な気持ちでながめながら四年間を終えました。二校目で念願の陸上部の顧問となりましたが、そこでは全くインターハイに届く選手はおらず、全道大会に出場するのがやっとの状況でした。しかし三年間クラス替えのない持ち上がりでの担任を経験し、大規模校にはない深い生徒とのつながりが大きな財産になりました。三校目では部員が四人しかいないという時期もありましたが、我慢し続けて六年目に

ようやく夢のインターハイ出場が叶いました。そのときの感動と興奮、スタジアムの華やかさと大歓声は忘れられません。そしてその二年後には高校で陸上を始めた生徒達が着実に力をつけ、リレーで勝負できる状況になりました。しかし絶対にインターハイにいけると全霊をかけていたレースで、あろうことか他校の選手との接触によりバトンがはじけ飛び、敗れ去りました。勝負事には運のようなものがついたり離れたりするのですが、まさに悪運でした。リレーでのインターハイのチャンスは千載一遇であり、選手達と猛練習を積み重ねてきただけにそのショックは相当なものでした。今も当時の生徒と会うと、必ずこの時の話になります。その後、現在の函館中部に異動して二年間は陸上を持てず三年目から顧問となりましたが、やっ

と去年、江差高校で味わった屈辱を九年越しで晴らすことができました。それは、準決勝で本来は落ちていたタイムであったものの、レース後に上位校の失格が判明し本校のチームが拾われるという、前回とは逆の運に恵まれたものでした。八番目ギリギリの記録で決勝に進み、決勝ではこれまたギリギリの六位入賞で念願を果たしました。その前年には、わずか〇・〇二秒差の七位で全国を逃していただけに選手は感涙にむせび、これまでの全ての苦勞を吹き飛ばしてくれました。

自分の実力ではどうしても届かなかった舞台に数多く連れて行ってくれて、生徒には感謝しかありません。ただ、高校時代の自分と同じようにどんなに頑張っても目標を達成できない生徒の方が圧倒的に多いのが現実です。また担任の立場として、自己の念願の進路を実現できる生徒は六〇七割くらいです。「よかったな、おめでとー！」と全員と笑顔で喜びを共有したいものの、悔し涙を流している生徒にどんな声をかけてやったらよいものかと言葉が見つかからないことも多々あります。ただ、ありきたりな表現ですが、生徒達には必ず話します。「結果が出なくても、目標のためにがんばりてくることが、生きていく価値がある。また、

その経験が絶対に活かされる時が来る。答えが出るのはまだこの先だよ」。喜び、悔しさ、つらさなど全ての思いが彼らの肥やしになるのだと思います。彼らを陰で支えながら、自己の目標に向かって真摯に打ち込むことがきつと先の人生において自らに返ってくるものと信じています。

「ありのままを認める」 教育学部



平成五年卒 身体発達
中島 英治

夢中で白球を追いつけた高校を卒業し、新たな道を探す努力を怠った私は、九イニングで決着をつけることができず、だからだと延長戦に持ち込んでいました。何となく地元の北大、受験科目で文Ⅱを選び、移行点で教育学部に進むことになった私からすれば、意欲的に進路を選択し、夢に向かって生きている学部生た

ちは異質の存在でした。劣等感の塊となり殻をかぶってしまったと、そこからなかなか抜け出せなくなっていました。結果的に私の場合と同級生より一年多く大学に在籍しましたが、今となってみればそれは私にとつて掛け替えのない時間となりました。ゼミ室に入ってすぐにコーヒード豆を挽き、ギターを弾き始めると、もう何年も学部にいる先輩やプールで泳ぎ終えたばかりの先輩、焼鳥屋の匂いの染みついた同級生や泥だらけになり汗くさい同級生が入ってきます(年齢や何回生かは未だに不明)。一通り歌い終わると、オレンジ色の大きなバッグを背負い、トレッドミル上を汗だくになって走ったり(最大酸素摂取量を測定するため)、『運動生理学(オストランド著)』を訳すふりをしたりしながら、毎日を過ごしていました。

ンスを生かした職業人として活躍されていることでしょう。

私の延長戦はまだまだ続き、決着は持ち越しのままです。もちろん今でも試行錯誤を繰り返し、失敗が続く毎日です。その度に誰かが応援してくださり、支えてくださいます。学校はブランクな職場というイメージばかりが先行していますが、私はやりがいのある素敵な職場であり、今でも「教師は聖職」と思っています。この文章が教職を目指す学部生の目に留まれば嬉しいですし、年々低下している教員採用試験の受験者数減少に歯止めがかれば嬉しいのです。

(登別市教育委員会
教育部参与)

教育研究支援室の紹介

教育研究支援室
田 中 翔

同窓会だよりをご覧の皆さまは「教育研究支援室(以下、支援室)」をご存知でしょうか。前号(第三十六号)の冒頭で名称が出てき

ました。二〇一四(平成二六)年五月に開設され、教育学部管理棟二階・研究院長室向かいに配置されています。開設された目的は『本研究院、学院、学部の教育・研究・社会貢献・管理運営に関連する定型的な教員の業務の一部を集約化して処理することにより、教育・研究・管理運営機能の向上を図るとともに、教員の業務を軽減すること』です。業務内容は次の五つです。

- 一、教育支援(各種アンケート入力・教材作成補助・レポート整理などの業務)
- 二、留学生受け入れ支援(留学相談及び事前審査業務の窓口、申請書類提出に係る相談業務等)
- 三、IR(評価室機能、教育・研究その他本部署の諸活動に関する情報の収集、各種データベース作成などの業務)
- 四、研究支援(研究条件整備(紀要編集、研究費補助金申請、研究倫理審査、研究会関係、研

究報告書「科研を含む」、研究情報発信 Web 管理等)

- 五、国際交流支援(国際交流(研究・教育)、国際交流事業の予算申請・事業報告、ビザ(査証)発給請求)

自己紹介が遅くなりました。支援室の田中と申します。二〇一五(平成二七)年七月から勤務しています。主な担当は、二、留学生受け入れ支援と四、研究支援です。その他、一、教育支援と三、IR 担当、五、国際交流支援担当がいます。

二、留学生受け入れ支援は事前審査の案内と申請書類の確認が主な業務です。研究生(外国人留学生)の受け入れは二〇一六(平成二八)年四月から教員個人による検討ではなく、学部・学院全体での申請制度をとることになりました。日本以外の国籍を有する方のうち、私費で研究生として入学を希望される方は事前審査に出願する必要があります。審査に必要な書類が整っているかを確認し、

場合によっては日本語の聞き取り調査を実施します。

申請期間は年二回設けています(八月上旬―八月中旬、二月下旬―三月上旬)。十月入学(申請期間…二月下旬―三月上旬)を希望する方が多く、申請者数は年々増加しています。

四、研究支援は主に研究院紀要の編集支援を行っています。紀要は年二回の定期刊行(六月、十二月)に加え、定期的に刊行されます(教員の退職記念号)。印刷会社とのやりとり、校正原稿の受け渡しを行っています。研究院 Web ページの更新も業務の一つです。教員・院生の研究成果報告、研究院主催の行事情報を掲載しています。ご覧いただける方々が見やすいよう心がけ、作成しています。

五、国際交流支援は主担当の補助や国際シンポジウムのポスター作成をしています。国際化への取組みが進む中、支援室の関わりが大きくなることが予想されます。ESD キャンパス・アジア・パシフィックプログラム(学部)やサマー・インスティテュート(学院)では招へい教員のビザ

発給請求、海外学生の宿泊手配なども行っています。

当たり前かもしれませんが、どの業務も周りの方々の連携が重要だと実感しています。教員の方々をはじめ、事務部の方々のご理解、ご協力の下、円滑に業務を進めることができます(思いがけないご依頼をいただくこともあります)。

課外活動にも力を入れています。毎年六月頃には学内ソフトボール大会に出場しています。教職員、力を

合わせ、優勝を目指しています(二〇一九(令和元)年七月現在、二勝)。昨年から他部署の教員や職員(以前、教育学事務部に在籍されていた方)にも参加していただき、目標に向かって練習しています。

今年は学部創立七〇周年です。一職員として、部局に貢献できるよう、日々精進して参ります。教育学部にお越しの際は、ぜひ教育研究支援室にもお立ち寄りください。



左手前が教育研究支援室
右が研究院長室

特別掲載

昨年の同窓会出欠はがきおよび同窓会費などの振り込み時に近況報告していただいた方々の声をご紹介します。なお、ほぼ一年前の「近況」を原文そのまま掲載いたしますので、ご了承ください(順不同、敬称略)。

して、岐阜にて勤務しています。

古本 尚樹(01年卒) 岐阜県土岐市

○(社) 日本知育玩具協会代表理事の役を拝し、在野にて、啓蒙活動に励んでおります。おかげさまで拙著「子育てを感動にするおもちゃと絵本」は三刷となりました。同窓会のますますの盛会を祈念しつつ。

藤田 篤(89年卒) 愛知県豊明市

○毎年のように近況を報告していると、中断すると、どうかあった?と思われる年代に入ってきました。アキレス腱の断裂で車いすや松葉杖のお世話になり、ライオンズクラブの会長になったりと忙しくしております。

秋元 儀禮(73年卒) 弘前市

○何とか元気で毎日を送っています。老健施設通いがないかな楽しいです。先輩の皆さんから沢山学んでいます。

伊藤 則博(62年卒) 札幌市厚別区

○平素お世話になります。熊本大学での任期を終え、今春より公益財団法人地震予知総合研究振興会東濃地震科学研究所主任研究員と

ベストセラー「精神科は今日も、やりたい放題」状態でした。ミシエル・フー

コー(※)も紐解いています。先日、月形の樺戸監獄博物館(集治監)を訪れました。開拓初期の過酷な労働(死亡者も多い)が、幕末維新の反乱士族や自由民権運動の逮捕者らに担わされていたこと、伊藤博文や黒田清隆にも関わっていたこと等、

生きた近代史の勉強になります。科学史の故・中川鶴太郎先生は清隆の姪の孫ですが、性格は対照的でした。近代化の末路はロクなものでない(北大の環境イベントで、モデルバーンでひたすら農家の廃屋を映すというのがあったそうだ)。昨

年は仁木町の木村秋則(奇跡のリンゴ)自然栽培農学校へ通いました。自然栽培も様々なスタイルで、微増

しているようです(札幌ファーム伊達家、当別、滝川、函館など)。少し前ですが小島希世子著「ホームレス農園」が興味深く、北海道にもあればと思います。(※研究者もおり、さっぽろ自由学校でたまに講座もあります)

高縁 恵美子(89年卒)

札幌市北区

○平成30年9月6日3時8分、私はヘルベチア小屋

(札幌国際スキー場下1・2^{キリト}、道道1号線沿い)に友人2人と泊っていた。ゆさゆさゆさ。大きく揺れた。6月18日大阪北部地震と同じくらい。但し、余震の長さが大きく違った。小屋はといえば昭和60年大改修時のコンクリート基礎が

しっかりしていた所為か、ログハウスという柔構造が為せる術か、メリメリギシギシという印象はなかった。2009年以降はほぼ毎年10日〜2週間この小屋を訪れている。元々、電気ガスの無い生活を求めているので、小屋での生活で困ることは

何等無かった。記憶に残る札幌訪問であり小屋ライフでありました。古川宇一様「北大山岳部物語」執筆ご苦労さまでした。

福本 駿(70年卒) 大阪府茨木市

○2年前、請われて小さなリフォーム会社の社長になりました。平均年齢68歳の超(?)高齡株式会社で「福祉リフォーム」を標榜しています。HBCテレビの「今日ドキッ!」で取り

上げて頂きました。

後藤 隆之(75年卒) 札幌市中央区

○ボランティア活動の中で「成人発達障害」との出会いで、再び勉学の機会を与えられています。脳科学の目覚ましい進展は諸々の状況を変えるでしょう。私自身も支えられて生きたいものです。

井上 蓉子(62年卒) 岩見沢市

○高校、大学の同期が次々と鬼籍に入る昨今です。人はいずれ死にます。この絶対的事実を前に、私も身辺整理を始めました。高齢のためか、仕事がなかなか進みません。もっと早くから始めるべきだったと後悔しています。

大居 健二(57年卒) 札幌市厚別区

○9月は胃癌手術後1周年。健康保持一途で老化に立ち向かっています。元気になると欲が出てスポーツや雑学を楽しんでいます。

忍 博次(54年卒) 江別市

○市民団体「札幌市子どもの権利条例市民会議」で活動中です。よろしくお願ひします。

小林 勇樹(07年卒) 長野県中野市

○盛会を祈念申し上げます。

葛西 明(05年卒) 岩見沢市

○目下「お独り様の老後」を満喫中。たまには学生時代の本も読む。日本社会は「半封建的」、この四字熟語は某左翼学者の造語とされ、種々解釈されてきたが、実はコミンテルンが日共にとった22年テーゼの中にあつた。なんて発見もある。

中村 襄(56年卒) 札幌市白石区

○宮崎隆志先生へ、学部長就任おめでとうございます。小生は80歳を過ぎてJICAの仕事も終わりのんびりしていたのですが、最近顔面神経症を患ったりしています。

田尾 直之(61年卒) 札幌市厚別区

○来年「七十年」には出席致したく思います。

織田 光之(55年卒) 埼玉県さいたま市

○4回生で笹山ゼミ卒・同窓会幹事長を31年続けた者の吉田誠吾氏の笹山ゼミの教科内容をなつかしく拝見しましたが、私共の時代で

は、そこまで進化していませんでした。85歳の現在、少しでも先生の学識に近づけたらと勉強しています。

小島 忍(56年卒) 江別市

○朝、テレビをつけたら信じられない、信じたくない光景が…。北海道胆振東部地震です。翌日「たより」届きました。できることを継続していくことで、微力ながら復興のお手伝いができればと思います。

秋山 祐子(97年卒) 兵庫県明石市

○仕事が入っているため、残念ながら欠席いたします。幹事の方々ご苦労さまです。

矢野 義幸(71年卒) 神奈川県秦野市

○短い北大教育学部音楽教育専攻科だったので、現在、出身者5、6名程度集まり、北音会と称して毎年顔を合わせております。

佐々木 伸浩(55年卒) 札幌市中央区

○2018・9・6北海道地震にあつては、つくづく文明社会の陥穽を実感しました。オール電化の謳い文句を信じたばかりに、ブラックアウトでたちまち路頭に迷い、コンビニやガソ

リンスタンドの列に並ぶ体たらく。不思議とマンションでの停電、断水、高層階での揺れの激しさと階段移動の過酷さはほとんど報道もされなかったのはなぜでしょう。

對馬 順哉(96年修士修了) 札幌市南区

○教員を退職し、今はフリーのボランティア生活です。アロマとパステルアートの資格を取り、障がい者サービスの日中活動のお手伝いをさせてもらっています。社会とつながっていることは大事だと痛感しています。

鈴木 里律子(78年卒) 札幌市中央区

○札幌学院大学定年退職後16年目を迎えました。ご盛會を祈念します。

安栄 鉄男(61年卒) 北海道市

○仙台出張と重なり、出席できません。北星学園に勤めて55年(現在学園長)、教育担当として、鈴木朝英先生、鈴木秀一先生の教えに導かれています。来年70周年には是非参加させていただきます。

酒井 玲子(65年卒) 札幌市南区

○からうじて生きています。**滝澤 真毅**(90年卒) 帯広市

○今年は仕事の都合で残念ながら行けません。毎日会社に行き仕事を続けています。

牛島 康明(74年卒) 千葉県千葉市

○ポリウムのある同窓会報拝読。編集、誠に苦勞様です。宮崎新学部長、東京で所属するNPOのセミナーにコメントーターで参加されておりまし。来年の70周年記念には是非参加致したく、早めに日程をお知らせ下さい。宜しく。

坂本 仁彦(70年卒) 東京都世田谷区

○ご案内ありがとうございます。病氣(間質性肺炎)療養中のため残念ながら出席できません。皆さまによりしく伝言ください。

花田 徹夫(56年卒) 札幌市東区

○通信制高校で講師をしています。引きこもりからの脱却を目指す生徒の支援は、なかなかうまくいきません。

阿部 剛康(92年卒) 釧路市

○サラリーマン生活を続けています。人から学ぶこと

も多く、また、考えさせられることも多く、次の展開を楽しみながら考えています。日常は捨て猫5匹引(人?)に飼われています。「人を知れば知る程、感心するのは猫である」か。

北守 昭(76年修士修了) 札幌市北区

○毎日、午前中は近くのスポーツジムで身体の体操、午後は図書館で朝・毎・読・日経・産経などを併読、頭の体操に努めています。

橋爪 幸正(61年卒) 埼玉県さいたま市

○同窓会だよりありがとうございます。同窓会事務ご苦労さまです。

前田 憲(64年卒) 名古屋

○今年も一応、元気に仕事(再雇用)、山登りを続けています。竹田・逸見両先生、お元気でしょうか。先輩、同期、後輩諸君にも会いたいです。

小松 秀樹(79年卒) 神奈川県川崎市

○平成30年春から第2の人生の幕が上がりましたが、舞台上で戸惑っているのが現状です。

鈴木 泰(71年卒) 北広島市

○高齡につき身体があちこち不自由です。

大島 貢(59年卒) 札幌市西区

○登山とアウトドアの専門店・秀岳荘(北12西3)に行く都度、帰りにはキャンパスまで足を伸ばし散策をしています。博物館に寄つたり学生の姿に往時を重ねて見たりしていますが、喧騒を離れたひと時、なかなかよいものです。皆さんもお試しあれ。

橋内 哲也(55年卒) 札幌市厚別区

○29日は小2、小1の孫の運動会につき、欠席させていただきます。3年前より別府の温泉ホテル(客室数51)の夜警(ナイトフロン

トの仕事をしています。また「岩野武市(イワノヴィッチ)」という俳号で「新俳句人連盟大分県支部」の支部長もしています。17日に北大OB合唱団の演奏会が予定されているので、会員の一人として客席に座る予定です。

玉井 春一(76年卒) 大分県別府市

○益々の発展を祈念いたします。

早川 和雄(56年卒) 小樽市

○管理組合の理事会(小生副理事長)に出席せざるを得ないので、残念ながら欠席します。

大野 雅弘(59年卒) 札幌市北区

○同窓会当日、他に所用があり残念です。「北大幼稚園の成立と史的役割」を書き上げました。「北海道社会福祉史研究」に掲載予定です。

市澤 豊(03年博士修了) 札幌市南区

○北海道大地震、心よりお見舞い申し上げます。被害は大きかったと思いますが、早い立ち直りを祈念しております。

益村 欣照(62年卒) 千葉県流山市

○高校の社会科の教員をしています。現在1歳の女の子を子育て中、2人目を妊娠していて育休中です。

山田 百合子(12年卒) 京都府京都市

○札幌で元気にやっています。

菅 洋一(06年卒) 札幌市東区

○平成30年4月より、空知管内の栗山高校に勤務しております。札幌南高校在勤

のときに、教育学部に進んだ教え子たちの活躍が楽しみです。

奥田 尚(96年卒) 札幌市清田区

○現在は利尻島でのんびりと過ごしています。

熊谷 正志(85年卒) 札幌市中央区

○学会と重なりますので不参加。盛会を祈ります。

逸見 勝亮(66年卒) 札幌市中央区

○永年の勤務先であった団体(中小企業家同友会)の五十年史(2019年刊行)をまとめる作業を行っています。歴史とは過去との対話であることを実感しています。

国吉 昌晴(66年卒) 東京都西東京市

○現在、山鼻中学校に勤務しています。来年度より、大学院でお世話になります。よろしく願います。

高橋 吾一(92年卒) 札幌市豊平区

○同窓会だより、ご送付いただきありがとうございます。懐かしいお名前を見て、数十年前を振り返っています。還暦を過ぎましたが、今も現役で相談員を務めています。生活困窮者自立支

援事業に取り組んでいます。教育学部で学んだことが今も役立っています。諸先生、先輩に感謝します。

蛭原 勝(79年卒) 新潟県新潟市

○北海道での「自由な小学校」づくり、少しずつ進んでいます。日本の教育に風穴を開けるため、ご支援、ご協力ください。

細田 孝哉(86年卒) 広島市

○学校現場の具体的問題に常に切り結ぶ教育学であるべきと、50年代に城戸幡太郎先生に教えられた気がしています。今その精神は生きているのでしょうか？

亀貝 一義(60年卒) 札幌市西区

○いつも同窓会誌送っていただきありがとうございます。

細川 光法(98年卒) 札幌市東区

○平成30年6月より、北大広報課卒業生基金担当として勤務しております。当日はホームカミングデーのスタッフとして会場のどこかにて皆さまにお会いできるかと存じます。

北村(旧姓・牧野) 綾子(06年卒) 札幌市中央区

○毎年「同窓会だより」をお送りいただき、ありがとうございます。学生時代にお世話になった竹田先生、逸見先生の健筆に、叱咤される思いです。同窓会総会と懇親会の盛会をお祈り申し上げます。

小野塚 恒男(78年卒) 新潟県新潟市

○学校現場には、改悪教基法の具体化により、国家主義教育が貫徹されつつあります。無自覚が一番恐いことだと思います。「崩壊するアメリカの公教育―日本への警告」を読みました。

渡部 秀清(72年卒) 東京都杉並区

○卒業後半世紀近くになり、若い頃には考えてもみなかった世界が目の前に広がっています。とまどい迷いよろめきながらも歩を進めざるを得ないので、日々過ごしています。

佐々木 孝一(74年卒) 江別市

○多くの方々の多彩な近況を知ることができて感謝しています。2018年8月9月に、中央アジアのカザフとキルギスに21人で行き、対話集会やフォーラムで発表してきました。日本人との

の共通ルーツを再認識しました。

竹田 正直(59年卒) 札幌市北区

○県職員を定年退職後、点字図書館に勤務して4年目に入ります。まだ少し役にも立っている間は勤めようかなと思っています。

門脇 保身(77年卒) 鳥取県米子市

○北海道教育大学札幌校で非常勤講師として授業を継続しております。臨床心理士として小中学校のスクールカウンセラーも続けています。70歳になりました。

森 範行(72年卒) 札幌市東区

○今年で定年を迎えますが、しばらくシニア社員として働きます。札幌で将来はゆとりの生活を夢見ております。

杉山 昌夫(83年卒) 埼玉県さいたま市



会務報告

(H30. 4. 1 ～H31. 3. 31)

期 間	会 務 報 告
H30. 5. 23	山岡 憲 様 (第 20 期) 逝去につき弔電
H30. 5. 24	平成 30 年度 役員・幹事会招集
H30. 6. 18	北大校友会エルム総会。竹田会長と齋藤幹事長が出席。
H30. 6～	ホームカミングデー文系 4 学部合同企画の打ち合わせ開始。
H30. 6. 26	平成 30 年度 役員・幹事会開催。
H30. 7. 2	役員・幹事にリテラ・ポプ리를議事録と一緒に発送。
H30. 8. 20	平成 30 年度同窓会会報発行。
H30. 9. 29	北大ホームカミングデー 2018。
同日	文系 4 学部合同シンポジウム。
同日	平成 30 年度同窓会総会。
同日	文系 4 学部合同懇親会。
H30.11. 26	役員・幹事にリテラ・ポプ리를発送。
H30.12. 17	胆振東部地震で被災した富門華寮へ義援金を贈る
H31. 3. 25	北大卒業・修了学位記授与式。竹田会長と齋藤幹事長が出席。
	アレンジメントフラワーとビールを贈呈。
	学年幹事は、藤 亮裕 (フジ アキヒロ) さん、栗津 美沙 (アワツ ミサ) さん。

会計報告

(H30. 4. 1 ～H31. 3. 31)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前期繰越	272,644	懇親会費 (H30) * 2	58,093
懇親会費 (H31) * 1	30,000	会報作成発送費 (H30)	316,105
懇親会余剰金	0	通信費・発送費	25,229
会費等収入 (料金相殺)	377,969	雑費・消耗品費	7,963
雑収 (銀行利息)	1	慶弔費	5,518
		交際費	11,000
		卒業式協力費	20,912
		交通費	8,500
		胆振東部震災義援金	30,000
		(小計)	483,320
		次期繰越	197,294
合 計	680,614	合 計	680,614

- * 1、参加 10 名分。
- * 2、後日支払った追加負担分を含む。

△編集後記▽
今年の夏は、北海道としては珍しく連日猛暑日となり、皆様は体調管理に気を使われた事と思います。
さて、その猛暑の中、なんとか今年も会報の編集活動を終える事が出来ました。寄稿して下さい皆様には感謝にたえません。また、多くの方々にご支援いただき、ありがとうございます。
今年は、北大教育学部創立七〇周年の記念の年になり、色々な事業がとり行われます。今回の会報では、学部と連携しながら同窓生の皆様に周知徹底する事を心がけての編集になりました。また、学部の記念行事 (九月二七日) の翌日 (二八日) が北大ホームカミングデーと、連日のイベントになります。皆様におかれましてはご多忙中とは思いますが、ふるってのご参加をお待ちしております。また、新たにスタートする「留学支援寄付金」・「教育貢献賞」へのご協力もよろしく願いたします。

ところで、昨日の八月六日は広島の前爆の日でした。

テレビや新聞で悲惨な状況を目の当たりにして、あらためて平和な日々になんていられることに感謝しました。そして八月九日は長崎の前爆の日、八月一五日は終戦記念日です。個人的には、「敗戦記念日」と呼ぶ方が相応しいと思っておりますが、再びあのような惨禍を引き起こさないように、自分も将来に対する責任の一翼を担っているものと自覚しております。

では、同窓生の皆様のますますのご健勝を祈りつつ、編集活動を終了します。
(八月七日 齋藤 彰)

トピックス

ホームカミングデー 2018 〈2018.9.29〉



合同シンポジウムの様子
(パネリストは森田美由紀さんでしたが、NHKさんの要請により、撮影はひかえました)



総会にて



懇親会にて



秋元札幌市長も参加



懇親会にて

トピックス

卒業・修了学位記授与式と祝賀会の様子 〈2019.3.25〉



学部長の宮崎先生より、一人一人に授与された



授与式にてスピーチする竹田同窓会長



晴れやかな卒業生・修了生



真剣にスピーチに耳を傾ける



祝賀会にてスピーチする学部長の宮崎先生



八戸学院大学の学長に就任した水野先生



祝賀会にて



祝賀会にて

HOKKAIDO UNIVERSITY HOME COMING DAY

Be ambitious again!

9.28 2019
[SAT]

会場 北海道大学 札幌キャンパス
主催 北海道大学
共催 北海道大学校友会エルム

お問い合わせ先

北海道大学 総務企画部 広報課

TEL:011-708-2101 FAX:011-708-2010
受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

<https://www.hokudai.ac.jp/home2019/>



北海道大学校友会エラム

北海道大学関係者の皆様のご登録をお待ちしております

※平成28年6月1日以前に基礎同窓会に加入されている方は会費不要です。



北海道大学関係者みなさんが
ご入会いただけます。

会員登録は以下URLからフォームにアクセス



<http://www.alumni-hokudai.jp/>

会員登録

をクリック!



会員登録が簡単になりました!

「お名前」「メールアドレス」「電話番号」
「入学 or 卒業 or 所属情報」のみでOK

郵送でのお申し込みをご希望の方は事務局までご連絡ください

北大との絆をつなぐ一枚



UCカード株式会社
北海道大学カード



三井住友カード株式会社
北海道大学カード

申込み

UCカード専用ページから申込み

UCカードサイト
新しくカードを作る
UCカード一覧
北海道大学カード



[https://www2.uccard.co.jp/
card/lineup/hokudai.html](https://www2.uccard.co.jp/card/lineup/hokudai.html)

三井住友専用ページから申込み

三井住友カードサイト
カードをつくる
カード一覧
北海道大学カード



[https://www.smbc-card.com/
nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp](https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp)

北大事務局
から申込み

専用申し込み用紙を送付いたしますので、下記宛にお名前・ご住所をお知らせください。
カードは、お申し込みから約1ヶ月後に、カード会社からご自宅にお届けします。

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み
北海道大学カードへの入会による取次手数料及びカード利用額に応じた提携手数料がカード発行元の北海道大学校友会エラムに還元され、これを「北大生支援資金」として北海道大学に寄附し、「奨学金」、「留学支援金」、「課外活動への費用援助」等に役立ててもらうこととしています。

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み

北海道大学カード

本学卒業生、教職員又は[※]在学生父母の方限定

※UCカードのみ



北海道大学校友会エラム
HOKKAIDO UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION ELM

お問い合わせ先

北海道大学校友会エラム
電話：011-706-2101
kouyukai@general.hokudai.ac.jp

北海道観光の 新たな可能性 ——アドベンチャー・トラベルとは?——

北海道大学ホームカミングデー2019 公開シンポジウム

公開講演会

開催時間 14:00 - 16:30

司会

平本 健太

(北海道大学大学院経済学研究院長)

講演者

かとう けいこ氏

((株)まちづくり観光デザインセンター CEO)

渡辺 敏哉氏

(まるぜん観光(株) 代表取締役)

講演者紹介

かとう けいこ氏

Kato Keiko

(株)まちづくり観光デザインセンターCEO、地域プロデューサー。足寄町生まれ。大学卒業後北海道リース、NHK札幌局営業推進室、経済産業局消費者相談室、「花新聞ほっかいどう」創刊編集長、シーニックバイウェイ支援センター事務局長・広報部長を経て2011年より現職。現在、ひだか観光大使、北海道宮崎馬運宮委員などの公職他、自治体や広域の観光振興計画策定や観光アドバイザー、座長などを歴任。現在、北海道大学大学院農学院共生基盤学専攻博士後期課程で、国際レベルの農村ツーリズムの研究にも従事。



渡辺 敏哉氏

Watanabe Toshiya

まるぜん観光(株) 代表取締役、ネイチャーガイド。1969年 利尻島生まれ。ペンションオーナー兼利尻山専門の山岳ガイド。北海道山岳ガイド協会会員、JMGA登山ガイドステージII資格、山岳スキーガイドステージII資格、利尻山岳会会長。



令和元年 9月28日(土) 14:00~16:30
北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)103室



インバウンド観光客は年々増加の一途を辿っており、北海道にとっても基幹産業のひとつとして観光に対する期待がますます大きくなっています。こうした状況において、昨今アドベンチャー・ツーリズムあるいはアドベンチャー・トラベルという用語が注目されるようになってきました。2021年の秋、ATWS(アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット)を北海道に誘致しようという気運も高まっています。北海道観光のあらたな起爆剤となると考えられているアドベンチャー・トラベルとは何か、その経済的意義や期待される効果などはいかなるものか。本企画では、このアドベンチャー・トラベルについて存分に語っていただけるお二人の講演者をお招きし、北海道観光の新たな可能性について展望します。